

精密検査を 受けましょう

～早期発見・早期治療のために～



口和支所地域振興室 専門員

土居和子



生活習慣病健康診査を受診して、約1カ月後には健診結果が自宅に郵送されます。「結果を見て終わり！」ではもったいないですね。健診の目的は病気の早期発見・早期治療や、生活習慣の見直しなどです。

がんは、日本人の死因第1位です。日本では2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなるといわれています。がん検診の結果で要精密検査と言われたら「怖い」「もうだめだ」「またか」「大したことは無いだろう」など、いろいろな思いがあると思いますが、必ず精密検査を受けましょう。

① 健診結果が郵送されたら

広報しようばら4月号では『特定健康診査』と『がん検診』の受診についてお知らせしました。現在、各地域での健診が実施されています。

精密検査未受診者の未受診の理由としては、①大丈夫と自己判断 ②忙しい ③検査が大変・受けたくないなどがあります。

がん検診は自覚症状のない病気を発見するためのものです。自覚症状のないうちに、異常か異常でないかを早期に診断し、異常があれば早急に対応しましょう。

自覚症状が出てからでは取り返しがつかないこともあり、本人や家族がつらく悲しい思いをするケースもあります。また、胃がんの精密検査では、ポリープなど、がんではない病気が見つかることもあります。

《平成26年度 庄原市健康診査後の精密検査の実績》

	受診者数	要精密検査数	精密検査受診者数(受診率)	がん発見者数	未受診・未把握者数(率)
胃がん	2,479人	260人	182人(70%)	12人	78人(30%)
大腸がん	3,038人	312人	135人(43.3%)	6人	177人(56.7%)
肺がん	3,172人	204人	112人(54.9%)	1人	92人(45.1%)
子宮頸がん	1,659人	29人	22人(75.9%)	1人	7人(24.1%)
乳がん	936人	88人	76人(86.4%)	8人	12人(13.6%)

※平成26年度の人間ドックを含めた庄原市生活習慣病健康診査より

検診項目	診療科
胃がん検診	内科・消化器科
大腸がん検診	内科・消化器科
肺がん検診	内科・呼吸器科
子宮がん検診	婦人科
乳がん検診	乳腺外科・外科
前立腺がん検診	泌尿器科

② がん検診の精密検査は何科で受診？

精密検査の結果がきても何科を受診すればいいのかな？と迷うことはありませんか。次の表を参考に受診しましょう。(ただし、場合によっては診療科が異なる場合があります。)

